

福祉教育の輪を広げる…

# ふくし学習ナビ

2014年7月発行



この一覧は市内の小中学校等に「総合的な学習の時間」等の福祉教育に活用して頂く為に、ふくし学習の推進に取り組んでいる団体や個人の方々の活動を紹介するものです。

掲載してある連絡先は、ほとんどが個人宅になっており、みなさんそれぞれ多忙の中で活動をされていますので、マナーを守ってご使用下さい。

また、連絡先が掲載されていない箇所がありますが、その場合は下記のボランティアセンターへご連絡下さい。

社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会  
地域福祉推進課 ボランティアセンター  
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2 (旧庁舎1階)  
TEL 04-2925-0041 FAX 04-2925-3419  
E-mail 0041m@toko-shakyo.or.jp  
ホームページ <http://godash.client.jp/>

GO! DASH!



「ふくしのまちづくり」  
を進めています！

無断転用・転載を禁止します

福祉教育推進者 紹介カード（団体）

No.	団体名	代表者	TEL	FAX	具体的な活動内容	今までの活動履歴	留意事項
1	所沢ボランティアグループ ふれあい				●所沢市内の小学校、中学校、高等学校の福祉教育支援として、車椅子、アイマスク体験学習を行っている。	●2013年度 小学校7校 （生徒718名、保護者70名、教師25名、ボランティア55名、学生実習生7名） 中学校2校 （生徒350名、教師16名、ボランティア21名）	●交通費3,000円おねがいします。 ●保護者の参加を歓迎します。生徒、教師、保護者、ボランティア、学生（実習生）の参加により福祉の心を学び合う。
2	手話事業 （所沢市聴覚障害者協会・所沢手話サークル）	幾島 良江		2996-2100 （聴覚に障がいをもつ為、FAXでのやりとりになります。）	●所沢市内の小、中、高校及び企業等からの手話に関する学習や聴覚障がい者（障がい）について理解を頂く為の講座等を実施しています。	●平成13年より、（小、中、高校）含およそ年間100件程の講座を担当いたしました。	●講座依頼は最低でも1ヶ月前にお願い致します（事前打ち合わせ、テキスト作成等ありますので）。 ●交通費の負担をお願いします。
3	NPO法人 バリアフリー・アートの会 わーくほけっと	本橋幸太郎 【事務局】 加藤木鮎子	2926-6369 【事務局】	2926-6369	あいあい企画 ●障りもつ人形と、障りをもたない人形と一緒に劇（赤ずきんちゃん・やまなしもぎ・3びきのこぶた）を演じたあと、子どもたちと障りについて対話をする、対話型人形劇。子どもたちが、人形たちとの対話を通して、バリアフリー意識を獲得していくことを支援するプログラムです。 《依頼者へのメッセージ》 福祉教育の入口としてご活用下さい。また、独自のテーマがあれば、ご相談しながらプログラムにいられていくことも可能です。	●主に市内の小中学校の福祉教育	●あいあい企画のパンフレットがあります。 ●人形や舞台道具の補修や制作、運搬などの経費がかかりますので、学校の事情に合わせて、公演経費（3000円～5000円）をお願いします。
4	所沢点訳グループ 「花みずき」				●市内の小中学校で、点字に関する学習のサポートをしている。 ●具体的には、自分の名前を点字で打ってみるなどして、点字に楽しく触れ合えるようなプログラムを実施している。 《進行は先生方をお願いしたいと思います。当グループは、学びを深めるためのお手伝いとして関わらせていただきます。時間は、2時間程度（45分×2）ご準備下さい。なお、福祉教育の一環としてなぜ点字を学ぶのかという事について事前学習をしておいてほしいと思います。》	●市内の小中学校の福祉教育（点字体験）	●点字学習の依頼は3週間以上前、対象人数は2クラス（60人程度）までとさせていただきます。 ●教材としての点字用紙代は、ご負担して頂きます（1枚5円）。 ●点字一覧表や説明文のプリントのコピー（生徒数分）をお願いしています。
5	NPO法人 infinity （インフィニティ）				●各プログラム説明 ①車イスバスケット車4台で行います。今までよりも充実した体験会になることと思います。障がい者スポーツ（車椅子バスケットボール）の素敵なルールを通し、誰もが持っている無限の可能性・人間のあり方・真の平等などユニバーサル社会に向けて必要なことを全員で考え発見し感じ取ってもらう体験教育プログラムです。 ②障がいを通して、『自分らしく生きる』をテーマに将来について考え、しっかりした考えをもってもらうプログラム。 ③障がいのある人が演奏して、そのあと障がいについて考えるプログラム。	●市内の小中学校、中学校の他、関西地区（10月～12月）での活動や、東南アジア（ラオス）での支援活動にも取り組んでいます。	①体験プログラム 2時間 1万5千円～（交通費込み）。選手2名～。 ※年会費2,000円でパラリンピックや障害者スポーツに関する年間カレンダーなどの特典があります。 ②講義のみのプログラム 1講演 5千円～ ③演奏プログラム 1講演 1万円～  ※内容によって複数の参加者が必要なため、講演費に変動があります。 ※費用については、ご相談ください。

※連絡先が記載されていない場合は所沢市社会福祉協議会/ボランティアセンターまで（Tel2925-0041 Fax2925-3419）

福祉教育推進者 紹介カード（団体）

No.	団体名	代表者	TEL	FAX	具体的な活動内容	今までの活動履歴	留意事項
6	日本ブラインドサッカー協会	【担当】 井口 健司	03-6908-8907	03-6908-8908	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『スポ育』プログラム ブラインドサッカーを用いた出張型体験授業で『ボランティア精神』『障害者理解』『チームワーク』『個性の尊重』『コミュニケーション』『チャレンジ精神』を学びます。</li> <li>●事前学習用テキスト教材を用意し、体験学習だけで終わらず、体系的に学べるよう考え尽くされたプログラムとなっています。</li> <li>●「総合的な学習の時間」「国語」「社会」「体育」など、たくさんの学びがあるため、様々な授業の枠で実施していただきます。</li> <li>●「障害者理解」といっても大掛かりな準備は必要ありません。先生方の負担はほとんどなく、教材にそって授業を進めていただくだけです。</li> </ul>	市内の小・中学校 （昨年は都内を中心に 約1万人に実施）	<p>（必要経費・一回のプログラムにかかる時間 ・実施の為の条件など）</p> <p>費用：無料（交通費、諸経費を含む） 場所：体育館等、子どもがのびのびと体を動かせるスペースのある場所 時間：体験事業は2コマ90分推奨 （授業時間はアレンジ可能です。） 派遣者：視覚障害者プレーヤー1名、サポートスタッフ1名。</p>
7	NPO法人聴導犬普及協会	【担当】 神嶋 千晶	049-262-2333	049-262-2543	<ul style="list-style-type: none"> <li>●聴導犬についての講演やデモンストレーション</li> </ul>	聴導犬の育成・普及啓発活動を行っております。	<p>費用：8,000円～10,000円 別途交通費をお願いしております。</p> <p>日程の調整をさせていただきますので、第3希望日までお知らせください。</p>
8	ところざわ外出支援ボランティア ラポート				<ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者、教師、ボランティアが一体となり生徒に接することにより福祉の種をまくことを目標とします。</li> <li>●福祉の心（①障がいのある人の心に分れる ②障がいのある人に寄り添う心に分れる ③生徒、教師、保護者、ボランティアが学習を通して分れあい絆をつなぐ）を車イス、ブラインドウォークの体験学習を通して学び合う。</li> </ul>	●所沢市内の障がい児者の外出支援を無報酬で行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通費3,000円おねがいします。</li> <li>●実施日は余裕を持ってご連絡下さい。</li> <li>●事前打ち合わせを行うようにして下さい。</li> </ul>

※連絡先が記載されていない場合は所沢市社会福祉協議会/ボランティアセンターまで（Tel2925-0041 Fax2925-3419）

## 福祉教育推進者 紹介カード（個人）

No.	区分	氏名	TEL	FAX	具体的な活動内容	今までの活動履歴	留意事項
1	車イス利用者	一木 昭憲	2998-5814	2998-5814	<p>●誰もが使える交通システムにする会では、誰もが安心して、障がいがあっても年をとっても共に暮らせる街づくりのため様々な活動を行なっています。</p> <p>●市内の鉄道駅、公共施設のバリアフリー点検・福祉の街づくりについての勉強会、講演会等の開催・ノーマライゼーション思想を伝える為、小中学校の総合学習への出席。</p> <p>《依頼者へのメッセージ》共に生きるまちづくりの活動にご賛同頂けるならどのような形態でも構いません。人数、規模の大小にかかわらず、お気軽にお声かけ下さい。</p>	<p>●市内小、中学校、総合学習の時間でのお話→中新井小、美原中、富岡中、北小、清進小、北中小、北野小、上山口中、南小、三ヶ島中、中央小（'09～'10）。その他公民館での地域学習、西武鉄道社員研修他。</p>	●特にありません
2		吉澤 敬太	2928-5836		<p>●私は、転落事故により頸椎を損傷し四肢麻痺となりました、妻は毎日の介護のためストレスによる介護うつ・パニック障害を発症しました。</p> <p>こうしたことから【あの瞬間から車いすで新たな人生・・・そして喜び】を主なテーマにして夫婦で講演しています。</p> <p>介護等に関心がある方々に思いを伝えたいと思います。</p>	●ホームヘルパー養成講座、その他。	●特にありませんが、駐車場の用意をお願いします。
3	視覚障がい者	引田 みや子	2944-1944	2951-1626 [Eメールアドレス] miya0403@poem.ocn.ne.jp	<p>●小学校と中学校における「総合的な学習の時間」の中で視覚障がい者に関する話、盲導犬に関する話等を1～2時間程度でしております。</p> <p>●視覚障がい者の白杖歩行、日常生活に関して（便利グッズの紹介、盲導犬との歩行と生活等）のお話ですが、点字や音声パソコン、音声対応ケイタイなどについても触れることがあります。</p> <p>●活動可能日：火曜日、水曜日、木曜日</p>	●市内小学校・中学校等。	●特にありません
4		玉津島 滝子			<p>●視覚障がい者の日常生活での体験談の他、点訳遊びを通して、生徒達と交流を図る。</p>	●市内小学校・中学校・都内専門学校。その他西武鉄道職員研修に協力。	
5	ボランティア	小島 治子			<p>●高齢者、障がい児・者への対人援助、知的障がい児・者への対人援助、精神障がい者への対人援助、所沢市社会福祉協議会ホームヘルパー2級養成講座研修講師、国立職業リハビリテーションセンター知的障害者3級ホームヘルパー講師</p>	<p>●昭和61年～平成4年12月所沢市役所高齢者福祉課非常勤ヘルパー</p> <p>●平成5年1月～平成10年3月所沢市社会福祉協議会訪問介護事業所常勤ヘルパー</p> <p>●平成10年4月～平成12年9月 同上主任ヘルパー</p> <p>●平成12年10月～平成17年3月 同上所長</p>	●特にありません

※連絡先が記載されていない場合は所沢市社会福祉協議会/ボランティアセンターまで（Tel2925-0041 Fax2925-3419）

まずは、ボランティアセンターにご相談下さい。

# 福祉教育実践 進め方のポイント！

「共に生きる力（共生）」のための実践力を育む

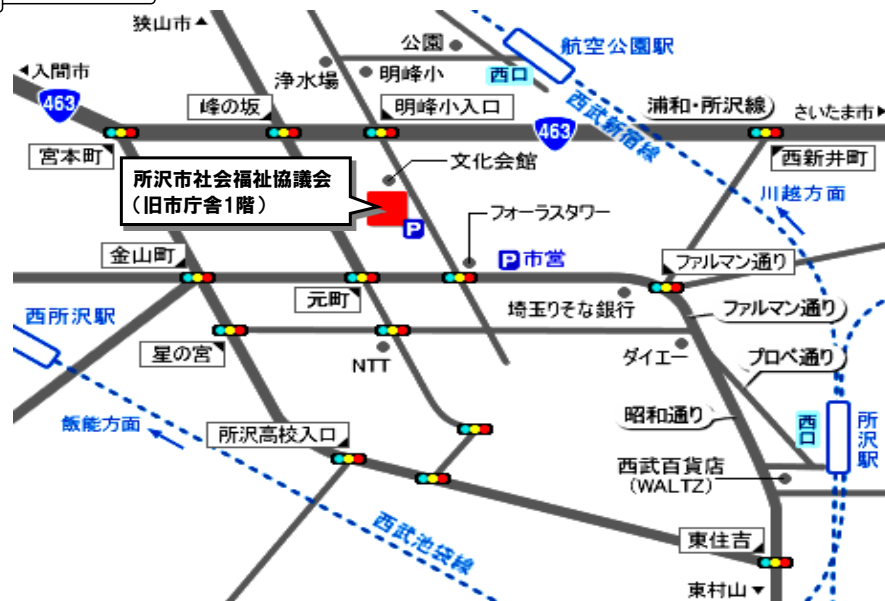
⇒ノーマライゼーションの実現（自分もみんなも自分らしく幸せに生きること）

- ①学習素材として「社会福祉問題」を取り上げる。
- ②社会福祉を正面からとらえて、かつ自分自身の日常生活と結び付けるために、「体験学習」を重視。
- ③社会福祉問題を解決する「実践力」までも期待。

そのためには…

- 時間的にゆとりをもったスケジュールを。
- 体験学習や講話を依頼する場合は、その方との事前打ち合わせをしっかりと。学習のねらい、役割分担の共有化を。
- 協力して下さる方の受け入れ体制を整えるましょう。
- 謝礼の相談もお願いします。

## 案内図



- プログラムを立てるうえでの相談  
福祉教育を進めるうえでの視点や疑似体験プログラムの進め方などの相談に応じています。
- 福祉教育協力者の紹介  
ハンディキャップを持つ方の講話や、疑似体験の説明をして下さるボランティアの方々を紹介しています。
- 機材の貸出し  
プログラムに必要な車イスや白杖等の機材を貸し出しています。